

本日は皆様ご多忙のおり、本校PTA会長 平井雅秋様、清水区副
区長大川寿之様はじめ学園の内外から多くのご来賓の皆様、保護者
の皆様のご臨席を賜り、かくも盛大に第20回卒業証書授与式を挙
行できますこと、高い席からではございますが、心から御礼申し上
げます。

328名の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。そして、
保護者の皆様、お子様のご卒業心よりお祝い申し上げます。

私は皆さんが入学した3年前こんなことを話しました。

教育という場は皆さんにチャンス、トライする機会を与える場
です。皆さんが伸びていくための、可能性を広げていくための機会を
与えるところです。

しかし、我々はチャンスを平等に与えますが、そのチャンスを生
かし自分のものにするかどうかは皆さん次第です。結果の平等まで
求めてはいけません。それは自分の努力と汗で勝ち取るものなので
す。

さて、みなさんは平等に与えられたチャンスを生かすことができ

たでしょうか。そしてこの3年間そのチャンスを生かす努力をしつかりしたでしょうか。ここにいる皆さん全員が胸を張って、イエスという言葉をつぶやいてくれるのなら、私は大変うれしく思います。

これからもみなさんが求めるもの、欲しいものを与えてくれる人などいません。希望するものが手に入らないからと言って、それを環境や周囲のせいにしても、虚しいだけです。結果に対して、常に自分の責任を追求していく人ほど成長するのであり、新たな果実を手にするのです。どうぞ努力と汗で夢や希望を掴み取ってください。

さてこの度、衝撃的なニュースが飛び込んできました。東京オリンピックの水泳金メダル候補池江りかこさんが白血病という病魔に襲われ治療に専念するというものです。彼女の目覚ましい活躍は言うまでもありません。彼女の夢は東京で開催されるオリンピックで金メダルを取ることであり、そのために辛い厳しい練習を積み重ねてきたと思います。そして、それは決して夢ではなく現実のものになるであろうと多くの日本人が期待していたはずですが。その夢が現段階では大変厳しい状況になってしまった。彼女の気持ちを我々は簡単に推し量ることはできませんが、無念の思いであろうと思いま

す。しかし、彼女は、自身のツイッターで多くの人びとの応援メッセージに感謝し、同時に同じ病と闘っている人々に思いを馳せ、最後には自分はしばらく応援側に回る、皆さんは引き続き、たくさんスポーツの応援支援をお願いします。必ず戻ってきますと自分の今の心境を語られました。

改めて池江さんの強じんな精神力に感動しました。そして、自分のことで普通は精いっぱいのはずなのに、同じ病に苦しくむ人やスポーツの応援という事にまで言及する。失意のどん底に落ち、すべてを投げ出したくなり、自分の世界に閉じこもってしまうというのが、普通の姿ではないかと思うのですが、彼女は違っていました。一流のアスリートは人間としても優れているということなのだと思います。いや、優れた人間であるからこそ一流のアスリートになれるのでしょう。

池江さんは皆さんと同じようにこの3月高校を卒業し大学に進学予定と聞いています。彼女はまさに皆さんの世代の希望の星です。彼女の歩んできた道、生き方、今後の人生から私を含めて学ぶべきことはたくさんあるのではないのでしょうか。

希望通りの人生を歩むことができる人間は一握りです。この世に

確実なものなど何一つありません。しかし、思い通りにいかなかったときにどう対処し、どう生きるかは皆さん一人ひとりに問われるのです。

最後に「感動することをやめた人は、生きていないのと同じことである」という言葉があります。

私は皆さんからこの3年間多くの感動をもらいました。校長室に実にたくさんの生徒が部活動の結果報告をしに来てくれました。海外研修に行ってきた感想、英語検定や希望の大学に合格したと涙を流しながら報告に来てくれた生徒もいます。体育祭でのみんなの笑顔、勉強が不得意だったけれども、必ず定期試験のランキング表に載りますと私と約束して、見事その約束を果たしてくれた生徒。弁論大会での熱弁。多くの生徒が自主的に校内外を清掃してくれたこと。そして爽やかな挨拶。

皆さんに感動をありがとうと感謝の言葉を述べたいのです。生きている意味を皆さんから教えられた毎日でした。

どうぞ、これからも皆さんは感動を与え続けることのできる人間になってください。そして、同時に多くのことに感動できる人間、感性豊かな大人になって欲しいと願います。

生きるということは感動することである。この言葉を皆さんに贈って校長の告辞といたします。 卒業おめでとう。